

議会だより

あやがわ



大にぎわい!!



滝宮の念仏踊奉納・綾バル同日開催（令和5年8月27日）

2023

NO. 70

令和5年10月20日
香川県綾川町

新人議員紹介・定例会・審議結果	2～3P
令和4年度決算監査報告	4P
委員会報告	5～8P
一般質問	9～16P
行政視察研修報告	17～19P
傍聴記	20P



綾川町議会ホームページ

9月定例会

綾川中学校体育館空調設備工事を
7612万円で契約

町長の専決処分事項

一般会計補正予算(第3号)

【総務課関係】

※関連記事5P1段目

綾川町議会における欠員が、定数の6分の1を超えたことによる補欠選挙を行うための補正。

工事請負契約の締結

●綾川町立綾川中学校体育館

空調設備工事

※関連記事5P3段目

契約金額(消費税込)

7612万円

契約者

中央電業株式会社

代表取締役 和泉 清憲

工期 令和5年9月14日

令和6年2月29日

9月定例会は9月8日から9月14日の会期で開催した。初日は町長より提案された議案6件、報告3件について提案理由の説明があり、一般質問には7議員が登壇した。その後、関係常任委員会および特別委員会に議案を付託し、散会した。

11日に総務常任委員会、厚生常任委員会を開催し、付託された議案を審議した。14日に本会議を再開し、議案の審議と委員会の報告を行い、議案を原案どおり可決。「令和4年度一般会計及び特別会計の決算認定」を12月までの継続審査、また、閉会中の議会運営委員会と議会広報特別委員会の所掌事務調査を継続審査とし、閉会した。

今回の傍聴は、延べ17人であった。



新たに空調設備を入れる綾川中学校体育館

NEW

定例会会議録のネット公開がはじまりました。

詳細は、スマホやタブレットからQRコードを読み込み、会議録をご覧ください。

(発行時には、最新の定例会分が更新されていない場合があります。) QRコードはこちら→



綾川町議会議員補欠選挙

9月24日の補欠選挙にて新たに議員となった3名を紹介します。

川崎 泰史
所属委員会
建設経済常任委員会



三好 和幸
所属委員会
総務常任委員会



議会広報編集特別委員会

浜口 清海
所属委員会
建設経済常任委員会



議会広報編集特別委員会

人権擁護委員の推薦同意

任期満了（令和5年12月31日）に伴い、委員の推薦に同意した。

岡内 利文（70歳）再任
綾川町畑田731番地18

松浦 美恵子（65歳）新任
綾川町東分甲1220番地4



大上 茂（69歳）再任
綾川町陶5651番地1

高嶋 健一（62歳）新任
綾川町北18番地3



決算審査特別委員会設置

12月議会で報告できるよう、令和4年度一般会計・特別会計決算内容を審査する。

決算審査特別委員会

委員長 植田 誠司
副委員長 小田 郁生
他、議長及び議会選出監査委員を除く全員

9月定例会（9月8日～14日）

■全会一致の議案

議 案 の 内 容	議決結果
町長の専決処分事項の報告（令和5年度綾川町一般会計補正予算（第3号））	原案可決
工事請負契約の締結（綾川町立綾川中学校体育館空調設備工事）	〃
令和5年度綾川町一般会計補正予算（第4号）	〃
令和5年度綾川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	〃

■異議があった議案

議 案 の 内 容	議決結果
綾川町人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	原案可決 （異議なし10、異議あり1三好東）

※令和5年度綾川町一般会計補正予算（第3号・第4号）の内訳（歳出のうち主な増額補正）

第3号では1,270万5千円、第4号では2,215万9千円を増額し、総額119億3,591万5千円とした。

■一般会計補正予算（第3号）

（千円）

内 容	補正額	審議内容掲載ページ
町議会議員選挙費	12,705	5P 1段目

■一般会計補正予算（第4号）

（千円）

内 容	補正額	審議内容掲載ページ
医療・福祉施設応援金	7,000	5P 5段目
あんしんタクシーチケット補助	4,320	5P 5段目
子育て支援医療費支給事業費（システム改修）	1,623	6P 1段目
滝宮小学校学力向上モデル事業	165	5P 1段目
綾上小学校ハート池改修工事	2,000	5P 1段目
旧綾上中学校校舎修繕工事	2,000	5P 1段目
農地災害復旧費	1,999	6P 5段目

最小経費で最大効果が発揮できるよう 事業の「選択と集中」を意識した行財政運営を

代表監査委員 わたなべ のぶ お 渡邊 宣夫



綾川町一般会計及び特別会計並びに企業会計の決算審査を実施し、慎重に審査した結果、記載金額は正確であり、予算の執行状況も適正であると認められました。

決算結果

令和4年度一般会計及び特別会計の決算額は、前年度比較、歳入額で、10億1866万円（5.3%）増の202億7098万円余。歳出額で、14億1721万円（7.8%）増の195億8499万円余となり、収支共に、前年度を上回った決算額であり、実質収支額は、6億3739万円の黒字決算となっている。

また、自主財源と依存財源の構成割合は44.9%対55.1%で、自主財源では、繰入金的大幅な増により、前年度比7.2%の増加。依存財源では、主にコロナ対策事業を要因として国庫支出金・地方特例交付金が減額となったが、自主財源と依存財源を合わせた総額では前年度より、9億9千万円余の増加となっている。

健全化判断比率

「実質赤字比率」及び「連結実質赤字比率」は該当なく、また、「実質公債費比率」、「将来負担比率」においても良好な状態を維持している。

公営企業会計

陶病院の事業収益は、新型コロナウイルス感染症が若干落ち着きをみせてきたこともあり、入院、外来共に、前年度に比べ増加し、医療収益全体では43%の増収となっている。

コロナの感染症法上の位置づけが5類に移行したものの、未だ収束には程遠い状況が続いており、PCR検査、ワクチン接種等、現場の医療従事者の負担は、なお大きいと思われるが、引き続き、患者のニーズを把握し、医療サービスの充実と提供に努められた。

介護老人保健施設は、令和4年度から指定管理者制度に移行し、当初は利用者から不安の声もあったようだが、その後、丁寧な対応を心掛け、経営も徐々に向上しつつあることを確認した。陶病院・エがおと連携しながら、地域の重要な施設として、健全で安定的な運営と介護サービスの向上の一層の質の向上を望むとともに、所管課においては、引き続き、管理・指導を行っ

ていただきたい。

特筆事項

全般的には、各種団体に對する補助金の支出について、その活動内容や経費の使途が不明確であるにもかかわらず、慣例交付している事案が一部見受けられた。

今後は、活動内容の成果や実績報告を求めるとともに支出明細を確認するなど、当該団体の事業内容を十分精査した上で、交付するよう徹底されたい。

また、質の高い行政サービスを提供するためにも、職場環境においては、職員一人一人がいっきと働き続けることができるよう、現場や当事者の声を聞きながら、メンタルサポートとともに適正な人員配置を望む。

総評

コロナによる社会の混乱がやや落ち着きを取り戻しつつあるものの、ウクライナ侵攻に加え、急激な円安や燃料費、食料品といった物価高騰が住民の暮らしや経済に大打撃を

与えている。

そのような中、あやがわスマイル応援券や子育て世帯への応援金など、各課、様々な支援体制に取り組んでいることを確認した。

将来にわたり、自立的、安定的な行財政運営を維持していくためにも、引き続き、町税や保険料といった自主財源の確保に努められたい。各種事業においては、最小経費で最大効果が発揮できるよう「選択と集中」を意識し、「いいひと いいまち いい笑顔」のスローガンのもと、行政と町民が一体となって、よりよいまちづくりの推進に向けて一層注力されたい。



暮らしを応援する「あやがわスマイル応援券」

総務委員会

令和5年度綾川町一般会計
補正予算（第3号）

補欠選挙の執行経費、1
270万5千円の増額補正。

令和5年度綾川町一般会計
補正予算（第4号）

【学校教育課関係】

教育費の小学校費で滝宮
小学校が県の「学力向上モ
デル校事業」に採択された
ことによる報償費と消耗品
費、また綾上小学校が「学
校環境緑化モデル事業」の
内定を受けたことによるハ
ート池改修工事請負費、中
学校費で、旧綾上中学校舎
の雨漏り修繕工事請負費の
増額補正。

問 ハート池の活用方法に
ついてどのように考えてい
るのか。

答 有識者の意見を参考に、
子どもたちが学習で利用で
きるよう、メダカ等の観察

用として整備する計画であ
る。



改修されるハート池

問 旧綾上中学校の維持管
理について、今後どのよう
に考えているか。

答 今回の雨漏りは屋上の
樋詰まりが原因で、今後、
定期的な点検等を検討して
いる。また、跡地利用につ
いては公募による利活用を
進めていくが、まずは希望
者のヒアリングを行う。ど
のような利活用が可能であ
るか情報収集を行い、実態
に応じた募集要項を作成し
たうえで公募したい。内部
で連携し維持管理に努める。

令和5年度綾川町立綾川中
学校体育館空調設備工事

綾川中学校体育館に空調
設備を整備。

設備を整備。

問 空調機器導入を踏まえ
た今後の熱中症対策におけ
る学校授業等の利用カリキ
ュラムについてどう考えて
いるか。

答 国・県からの熱中症対
策の通知等に基づき、校長
会等で情報共有を行い、各
校、学校経営の中で対応し
ていく。

問 工事請負契約書の保険
はどのようなものか。

答 契約保証金の替わりと
なる保険である。

問 空調の方式をガスヒー
トポンプ式に決定した理由
は何か。

答 導入コストと災害時の
運用を考慮して決定した。

問 今後各学校における導
入については、排出するCO₂
量も考慮すべきではないか。

答 今後導入する機器につ
いては、その都度、様々な

視点や各学校の状況等によ
り検討していく。

問 空調のエネルギー効率
を上げる運用方法について
どう考えているか。

答 既存施設の設備と空調
機器を使用しながら効率的
な運用を検討していく。

令和4年度綾川町健全化判
断比率及び資金不足比率

実質赤字比率、連結実質
赤字比率、将来負担比率、
及び資金不足比率について
は該当なし。実質公債費比
率はマイナス2.4%であり、
健全に運営されている。

その他

問 介護保険料の遡及賦課誤り
について

答 介護保険料は複雑で難
解なので、DXで簡素化す
るよう国に要望を。

問 今後国の通達等も注視
して、健康福祉課とも連携
し、正確に賦課することを
努めて参りたい。

厚生委員会

令和5年度綾川町一般会計
補正予算（第4号）

【健康福祉課関係】

「医療・福祉施設応援金
支給事業」として補助金の
増額補正。「あんしんタク
シーチケット補助事業」と
して補助金の増額補正。新
型コロナウイルス感染症対
策費においては財源振り替
え。



令和4年度同様、県補助額の1/2を助成
1事業所増加で700万円を補正予算として計上

【保険年金課関係】

「国民健康保険特別会計
繰出金」で令和6年1月か
ら始まる国民健康保険税産

前産後の免除措置に伴う、国保システムの改修費用等として事務費の増額補正。「子育て支援医療費支給事業費」で、支給対象年齢者の拡充に伴うシステム改修費用の増額補正。

令和5年度綾川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入・歳出それぞれ307万2千円を増額するもので、歳出では、総務費、委託料で国保システム改修費用の増額補正。また歳入では、主なもので事務費負担繰入金等の増額補正。

その他

マイナンバーカード

更新の通知・啓発はどうか。またそれ等に伴うトラブルは。

更新時のトラブルは今後、更新の案内は国からの通知であり、町は来庁者への更新手続きを実施している。併せて更新

漏れがないよう啓発していく。

陶病院発熱外来の対応

インフルエンザの対応は。

新型コロナウイルス感染症と同様に発熱外来で対応している。

新型コロナウイルス感染症

分類が5類に移行後の診療所における発熱外来の対応は。

綾上診療所では受付時間等の制限は行っていない。

サポステ

※地域若者サポートステーション。働くことに悩みを抱えている15〜49歳までの人を対象に、就労に向けた支援を行う機関。

サポステと町のかかわりは。

障害者手帳を持たない50歳以下の就職先を探している人を対象に7月から月に一度、サポステの相談員

に来てもらい、町で相談会を開催している。これまでに2、3組ほどの相談があった。

商工会など町内にある働き先に、サポステの就職あっせん先として登録をしているか。

現在はない。今後検討する。

エンディングノート

空き家対策に関連して、町としてエンディングノートをどのようにとらえて、進めていくか。

空き家対策につなげるのは今のところ難しいが、いいまち推進室等とも連携をとって、進めていきたいと考えている。

個別避難計画

個別避難計画とはどういったものか。

今年度綾上地区の要支援者台帳に登録している183名を対象に個別避難計画の

計画作成案内書を郵送している。本人の情報に加えて、万が一の際に支援してくれる人、避難する場所、避難経路などを記載いただくようになっている。災害時の避難について再確認してもらうことが目的でもある。来年度以降で綾南地区を予定している。

建設経済委員会

9月1日の建設経済委員協議会の内容を掲載。

綾川町土木事業補助(生活道舗装工事(庵坊地区))

滝宮地区の庵坊公民館から県道高松琴平線に抜ける法定外の道路の一部であり、今年度、特に舗装の傷みが激しい約10mの区間において修繕を行う予定である。綾川町生活道認定基準及び綾川町土木事業補助規程における要件を満たしていることから、生活道の認定路線とする。

対象路線の南側は急勾配となっており、冬場の凍結時には転倒する恐れもあると思うが、舗装工事に合わせて、滑りにくい材質を使う等、何か安全策を考えているのか。

施工は地元が行うこととなっており、費用負担も50%かかることから、町から助言することは可能だが、最終的な工事内容の選択や判断は地元が行うこととなる。



庵坊地区生活道路現地踏査

その他

令和5年6月1日〜2日梅雨前線豪雨による被災状況

6月2日に大雨警報と洪水警報が発表され、災害復旧事業の対象となる被害が1件あった。場所は、山田上地区で、農地の法面が畦畔とともに崩落した。現在、国に災害復旧事業の申請を行っており、今後査定を受けて、事業として認められれば、工事を実施していく。

綾川町農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の改選に伴うスケジュール等

現在の農業委員及び農地利用最適化推進委員の任期は3年間で、令和6年7月19日までである。農業委員の定数は、条例により19名。農地利用最適化推進委員の定数は、同じく条例により20名と定めている。

〈スケジュール〉

令和5年4月
自治会長会及び定例農業委員会にて周知
12月 町広報紙等による町内への周知

令和6年1月

募集期間…令和6年1月上旬から概ね1カ月間

2月 「候補者評価委員会」による選考

3月 綾川町定例会において議会の同意

7月 町長による任命

町営住宅の入居状況等
(令和5年8月15日現在)

町営住宅の入居率は85.3%、移住定住促進住宅の入居率は94.7%である。公営住宅は9月1日から11日で今年度2回目の募集を行い、特定公共賃貸住宅は随時募集を行っている。

民間住宅耐震対策支援事業の交付決定件数は診断1件、合併処理浄化槽設置整備事業の採択件数は、5人槽69基、7人槽26基の計95基であり、その内、転換は74基である。下水道接続状況は今年度新たに4世帯接続しており、未接続は718世帯である。

帯である。

長柄ダム再開発事業進捗状況

- ・事業費
12億1000万円(令和5年度)
- ・事業内容
付替え道路工事、ダム本体設計、橋梁設計
- ・用地買収
面積割合 約26%。
登記名義人数契約 約35%の契約。(8月31日現在)
- ・その他「町道栗原長柄線(第1工区)について」
県の長柄ダム事務所が工事用道路の整備工事を発注。河田土建有限会社が受注した。(工期…7月11日～12月14日)

要望

先般のような急激な大雨による、長柄ダム放流の緊急放送があると、町民は不安になる。この長柄ダムの嵩上げ工事は、町民の安心感にもつながると思う

ので、一日も早い完成を望む。

議会のあり方検討会

第9回、第10回、第11回を開催。以下の内容を協議し、9月8日の全員協議会にて、中間報告を行った。

■第9回(6月26日)

「議員定数の削減人数について」

委員より「誰がどの地域、年代、性別、思想等を代表するかという代表制の議論と、その代表制を明確にするための過去の選挙データの分析を行う必要がある。議論を進めるために14人とするなら仮定値とするのが良い。」という意見があった。一方で他の委員より「これまでのあり方検討会で、慎重なる議論を重ねてきた。1月26日のあり方検討会で削減の方向性は決まったので、今後はそれに伴う課題

■第10回(7月26日)

「議員の定数削減に伴う課題について」

まず、事務局より『定数を削減した場合に、「定数条例」や「委員会条例」等の改正の必要がある。』との説明があった。

また、「議員定数が14名で、複数所属制を導入している自治体は、全国157のうち、5自治体だけであり、極めて少ない状況である。」との報告があった。(※検討内容は、P8図参照)

いずれにしても、執行部側とのすり合わせや委員会の設置数による比較検討な

改選後の委員会編成の検討

構成案に対して出た意見や メリット・デメリット

3委員会2所屬

- ・再編しても今のままの構成で運用できる。
- ・所管事務全般において議論や調査ができるので広範囲な知識を有することができる。
- ・議員によって仕事量に差が出る。

2委員会1所屬

- ・類似団体の大多数はこの形。
- ・これまでと同じ1人が1所屬の方が集中して審議ができる。
- ・委員会へ割り振っている役場の課の再編成は十分検討する必要がある。

5委員会複数所屬

- ・各委員長負担を分散できる。
- ・課題を仕分けて、短時間で濃い議論ができる。
- ・包括性が下がる。

現在の構成

3委員会1所屬

総務（6人）

厚生（5人）

建設経済（5人）

14人
へ
削減

16人→14人になると、
人数的に委員会運営上、
支障が生じることが懸
念される。

■第11回（8月28日）
「委員会構成について」

3委員会の複数所屬制、

どを十分に行いながら進め
ていく必要があるとし、こ
の件に関しては、継続して
協議していくこととした。

2委員会の一人一所屬制、
多数委員会の複数所屬制な
どについての意見交換を行
い、各委員、他市町の委員
会構成を参考に、実際の運
用状況について、調査・研
究を行い、次回の検討会で
発表することとした。

安藤利光議員逝去



去る令和5年8月1日に、
75歳をもって逝去されま
した、故 安藤利光議員に
対し、謹んでお別れの言葉
を申し上げます。

今、悲しき告別の辞を申
し上げる事になろうとは、
議員一同、夢想だにしな
かったところであります。

この度の訃報に接し、言
いようのない驚きと悲しみ
の中で、もはやこの世で再
びお目にかかれまいという
事実を、自らの心に言い聞
かせる時、運命のあまりの
厳しさに、心を打ちひしが
れる思いでございます。

安藤議員は昭和53年4月
に旧綾上町議会議員に初当
選以来、平成18年3月の合
併を経て、45年と3ヶ月の
長きに亘り町議会議員とし
てご尽力されました。

その間には議会運営委員
長、学校等再編整備調査特
別委員長、議会広報編集特
別委員長などを歴任され、
とりわけ議会広報の編集に
関しては、綾上町時代から
現在に至るまで、継続して
携わっていただきました。

この「議会だより」の編
纂に、並々ならぬ熱意と責
任感をもって、取り組まれ
てきたその姿勢は、町議会
議員、また町職員の誰もが
知るところであり、まさに
敬服の至りでございました。

原稿用紙に向かって、一
字一句、丁寧に筆を進める
姿、カメラを片手に東奔西
走する姿、そのような広報
委員長としての姿が、今も
脳裏に浮かんでまいります。

昨年8月以来、体調不良
のためご療養されていると
伺っており、一日も早い回
復を信じて待つておりまし
たが、このような形で不帰
の方となられましたことは
痛惜の極みでございます。

生者必滅会者定離の理と
は申せ、未だ春秋に富む安
藤議員の急逝は、今も実感
となり得ず、余りにもか
ない人生の無常を嘆かざる
を得ません。

再び相見えることは叶い
ませんが、安藤議員のご遺
徳と幾多のご功績は、永久
に綾川町政に携わる者、並
びに綾川町民の胸に永遠と
生き続け、長く称えられる
ことでありましょう。

申し上げれば限りもなく、
惜別の情はつきませんが、
ここに謹んで哀悼の意を表
します。

心よりご冥福をお祈り申
し上げます。

議員一同

一般質問

9月定例会では、7名の議員が登壇し、町政について質問を行った。

(◎の質問を発言順に内容を要約して掲載)



一般質問の全文・音声のインターネット公開が始まりました。

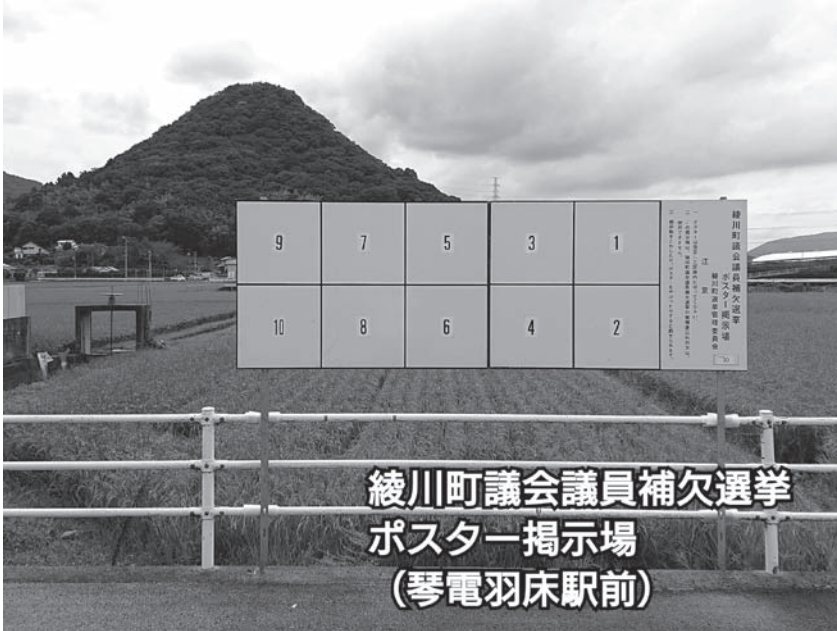


9月定例会より、議会ホームページで一般質問の全文および音声を公開します。QRコードのリンク先をぜひご覧ください。
(発行時には、最新の定例会分が更新されていない場合があります。)

質問者	質問内容	掲載ページ
井上 博道	◎本町選挙管理事務関連について	10 P
福家 利智子	◎重層的支援の取り組みは ◎脱炭素社会に向けて	11 P
大野 直樹	◎農地の適正利用についての考えを問う ・相続土地国庫帰属制度について	12 P
大西 哲也	◎農業の人材不足について ◎災害時のペットの避難について	13 P
森 繁樹	◎根本的な要因から取り組む空き家対策について	14 P
十河 茂広	◎道の駅「滝宮」の現状と課題について ◎子どもの眼の健康について	15 P
三好 東曜	◎X B B ワクチン接種に十分な説明を	16 P



一般質問とは…議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、直接質問して確かめること。疑問点を質し、政策的提言等も行う。



いの うえ ひろ みち
井上博道 議員

民主主義の根幹であり、町民の参政権である選挙

本町選挙管理事務関連について

今後とも適正で確実な選挙執行に努める

選挙は民主主義の根幹であり、選挙執行にあたっては、公正さに疑念を持たれるようなことがあってはならない。町民の声の中から幾つかの例を挙げて、本町選挙管理委員会の見解を聞く。

問 本町が採用している投票用紙読取分類機、計数器等のメーカーはどこか。自動集計により、問題を起した自治体もあった。本町選管は「他山の石」としてどのように認識し、考えるか。

答 各機器等は、全国の自治体選挙において導入実績のある機器を導入している。特に、投票用紙の点検・計数については、読み取り機での分類後、職員による2回の点検及び開票立会人でチェックし、誤りが生じないように確認している。

問 今年4月9日午前、期日前投票を済ませた有権者1人に、誤って投票用紙を交付した二重投票ミスがあった。いずれも有効投票として取り扱われたようだが、この原因と今後の対策は。

答 注意喚起のメッセージ画面が出たにも関わらず、受付を通過させてしまった。今後、ミスが無いよう、従事者に対して指示・指導を徹底する。

問 投票用紙への鉛筆での文字は消されて書き直されはしないかと心配する有権者もいる。ボールペン記載に対する本町選管の見解は。

答 滲み防止のため、原則は鉛筆による記載としている。ボールペンにより記載された場合も、自署していれば有効票として取扱う。

問 不在者投票及び期日前投票用紙の管理はどのようにしているのか。投票業務管理ソフトを使用している場合、メーカーはどこか。ソフトは適切か。日本国内でも、不自然な得票推移等があった自治体があると聞く。

答 施設した場所で、厳重に保管している。投票業務の管理については、機器と同様に、全国での導入実績のある投票管理ソフトを導入している。開票業務については、管理ソフトの導入はしていない。

問 開票を急ぐのはわかるが、選管の車が交通事故を起こしたらどうするつもりか。

答 公務員として法令遵守りなのか。職員への道路交通法令遵守指示はどうなっているのか。

答 は基本であり、事務従事者説明会においても安全で適正な従事をするよう指示・指導をしている。

問 選管委員長も委員も都合が悪い場合に初めて補助機関である事務局が対応するのが本来の姿だと思つた理由を。

答 選管委員長は職務代理者は選任しているが、両者とも仕事の関係で出席が難しかった。選挙管理事務なので、書記長として答えた。

要望 全国でトラブル等、問題がある投票用紙計数機等の会社がある。一層厳密に、厳正かつ公正な選挙を執行して頂きたい。

選管委員長は、こういう大事な場合(本会議)には、執行機関なので出席してほしい。仕事で出席できないようなら委員を変える等、厳しくすべきである。名前だけではつまらない、という意見があっても仕方がない。



相談事業内部会議の様子



ふけりちこ
福家利智子 議員

重層的支援の取り組みは

地域共生社会の実現に向け、継続して取り組む

問

少子高齢化、人口減少が進む中で家族や雇用形態の多様化と地域社会の結び付きの希薄化が同時に進んでいる中、個人や家族が抱えている生きづらさやリスクが複雑化し多様化している。様々な課題を解決していく上で重層的支援が重要。本町としての取り組みは。

答

令和4年度より生活困窮者等就労準備支援事業等補助金を活用し、重層的支援体制整備事業への準備事業に取り組んでいる。

1つ目の包括的相談支援事業では、相談体制の充実に努めている。高齢者は、地域包括支援センター、子ども・子育てでは、子育て支援課やきらり、精神保健や母子保健は、えがお、生活困窮者や障害福祉社については、綾川町社会福祉協議会と健康福祉課が主たる相談窓口となっている。

2つ目の参加支援事業では、かがわ若者サポートステーションによる「出張サポート個別相談会」を7月より開始した。

3つ目の生活困窮者等の地域づくり支援では、高齢者の生活支援・体制整備事業と合わせて綾川町社協に委託し、「まちかどほっと歓事業」や社協の「つながるんジャー事業」で把握した情報等を活用しながら、地域の中で交流できる居場所づくりをしている。今後も、地域共生社会の実現に向けて、住民が地域で安心して暮らせる取り組みを継続する。

脱炭素社会に向けて

令和6年度に「綾川町地球温暖化対策実行計画」策定

問

脱炭素社会を実現するために、行政がロードマップを示しながら官民一体で取り組むことが重要であり、計画を立てるだけでなくこれに関連した企業の事業活動を活性化することでその達成が近づくものと考えている。カーボンニュートラルの実現と

答

いう極めて高い目標を達成するためには、どのような取り組みをしていくのか。

本町では住民や町内企業の方を委員とする、「綾川町地球温暖化対策実行計画策定委員会」を立ち上げ、住民と企業、行政のそれぞれの立場で、どのような事がで

きるのか、また、地域の特性を生かした持続可能性がある施策等を議論・検討し、「綾川町地球温暖化対策実行計画」を令和6年度に策定する。町としてゼロカーボン宣言を行うなど、脱炭素社会の実現に向けて取り組む。



おの なお き
大野直樹 議員

農地取得下限面積の撤廃により耕作放棄地の減少が期待される

農地の適正利用についての考えを問う

農地利用を明確化する地域計画を策定していく

※ 令和5年4月1日から農地取得時の下限面積の要件が撤廃された。この改正は、高齢化や農業人口の減少を受け、多様な人材を農業に参加させるための施策として行われた。
※ 農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律の規定により、農地法の一部が改正

問 今年度の問い合わせ件数は。

答 問い合わせ件数の集計は行っていないため把握していないが、改正後の問い合わせは増加している。

問 以前は下限面積要件により農地を取得できなかった所有農地4000㎡を下回る申請者からの申請件数と許可件数は。

答 申請件数は6件あり、すべて許可されている。

問 下限面積撤廃により新たに発生する懸念材料は何か。

答 法改正後から現在までの許可後の利用管理に問題は無いが、懸念材料としては、転用目的で農地を取得する事、農地の分断化、適切な管理が行われない可能性がある。

問 法改正に伴い、条例・規則の改正など必要なことはあるのか。

答 町が新たな制限を設けることはできず、農地法に基づいて要件を審査して対応する。

問 他の市町での問題点やトラブルについて把握しているか。

答 他の市町の問題点やトラブルについては県からの情報は得ていない。

問 下限面積の撤廃により、500㎡ほどの土地を農地から宅地に転用することができ。まちづくりのチャンスがあると考えが。

答 農地を宅地として転用することは、農地法の制限があるため、場所によっては転用が難しいが、具体的な対応については状況を見ながら判断する。

問 小規模農家支援事業で貸し出す機械等の種類、数を増やすことは考えているのか。

答 貸出品の種類・数量については、今後の利用状況をみて検討していく。



農業従事者の多様化



おおにし てつ や
大西 哲也 議員

農業の人材不足について

関係機関と連携しながら先進的な事例を研究する

本町における基幹的農業従事者数の平均年齢は71.6歳と高齢化が進んでおり、全国的な取組みとして地域おこし協力隊制度の活用や、農業分野への自治体職員による副業の制度化等が農業新聞にも掲載されている。

問 農業の人手不足について本町の見解と取組みは。

答 農業の人手不足は問題として認識している。

認定農業者への補助事業、集落営農の推進や新規就農相談、町独自の農業振興補助金制度、農地流動化、遊休農地解消、基盤整備事業に加え、企業の農業参入や農地の継承について香川県や香川県農協と連携し、先進的な事例を研究する。

問 自治体職員の農業分野への副業は。

答 慎重な協議が必要であるが、地域の状況、多様で柔軟な働き方、地域への

貢献などを踏まえた環境整備について研究する。

問 経済課からの具体的な支援や対応は検討しているのか。

答 現在は検討していない。農業分野への副業や地域おこし協力隊の活用が具体的に採用されるなどの形になれば様々なサポートを考える。

災害時のペットの避難について

関係機関と協議し、適切な対応ができるよう進める

問 ペットの避難について本町の取組みと今後の対応は。

答 現状において災害時の備えは十分な状況ではないが、住民生活課と協議、検討を行い、避難所訓練等適切な対応ができるよう進める。

問 「飼い主の会」への見解は。

答 避難所でのペットの管理は飼い主自ら行うことが基本になることから「飼

い主の会」の設立は重要と考えている。避難所運営訓練等において他自治体の事例を参考に取り組んでいきたい。

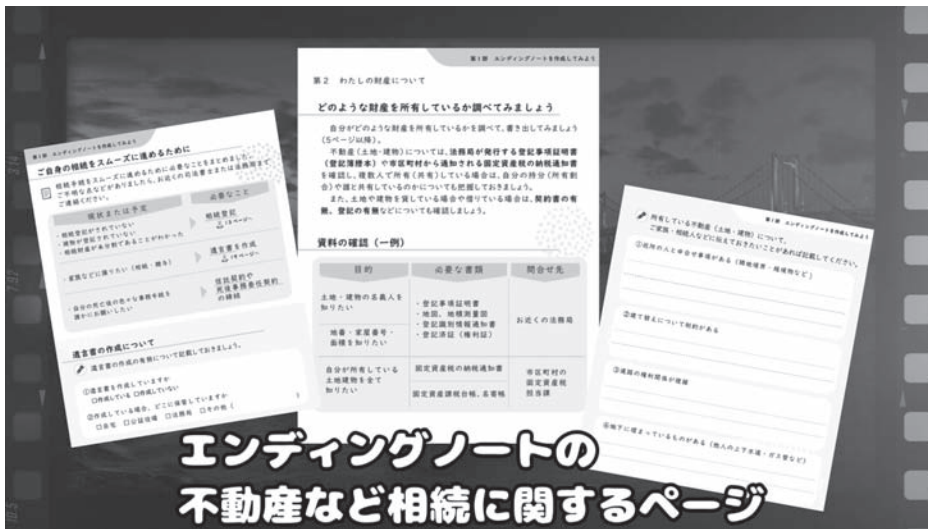
問 町内の動物病院等との連携は。

答 現在は協定を結んではないが、今後は獣医師会との協定も念頭に連携していく。



もり
森

しげ き
繁樹 議員



根本的な要因から取り組む空き家対策について

さまざまな観点からアプローチする

問

空き家の増加は近年の課題であり、その根本的な原因の一つとして相続者間のコミュニケーション不足や問題意識の欠如が挙げられる。多くの空き家は、先延ばしや手間を避けるために生じていると考えられる。様々な政策や対応が行われていると思うが、根本的な原因へのアプローチとして、エンディングノートが有効と考える。

答

①平成30年に策定（令和5年見直し中間改訂）した「綾川町空き家等対策計画」を基盤とし、「香川県空き家バンク制度」で、空き家の情報登録・提供を実施。また、「空き家リフォーム事業補助金」や「IJU（移住）タウン促進住宅支援事業補助金」、「若者定住促進補助金」などの移住・定住促進施策を一体として展開している。登録された空き家は36件で、そのうち25件が成約に至っている。

る。令和5年度からは、空き家所有者と町が連携し、移住・定住希望者への賃借を促進する「綾川町中間管理住宅」制度を新たに設けた。また、空き家の除却もサポートし、補助金制度を通じて8件の除却を実施している。②作成予定はない。③研究課題とする。エンディングノートは現在、えがお、いきいきセンターに3種類のものを用意。いきいきサロンや高齢者学級等の行事の中で終活（ACP・アドバンスケアプランニング）の啓発もしている。相続間のコミュニケーションや問題意識、複数の課の連携も参考に空き家対策等に取り組む。

エンディングノートは相続や不動産情報の共有に役立ち、家族間のコミュニケーションを促進するきっかけとなる可能性がある。また複数の課から啓発することにより、農地法や国庫帰属制度といった法律関係の変化にもタイムリーな対応がしやすくなる。そういった観点から考えると、エンディングという言



道の駅「滝宮」



そ ころ しげ ひろ
十河 茂広 議員

※GIGAスクール構想：全国の小中学校において、1人1台のパソコン端末や校内LAN等の通信ネットワークを国の補助により整備する制度

道の駅「滝宮」の現状と課題について

現在、問題なく対応できている

令和3年3月にグラントオープンして2年余りが経過したが、地方創生の拠点施設、また防災拠点にも指定されている。現状テナントの集客・売上げ、防災拠点としての課題について伺う。

応えていくための次なる企画は考えているのか。

当初の目標を来客数50万人、売上高10億円と設定していた。令和4年度実績が、来客数約45万人で達成率は約90%。売上高は約8億円、約80%となっている。今後は、「綾バル」「綾川プロジェクト」をブラッシュアップして継続する考えである。また指定管理者の方で、イベント企画して実施するよう指導していく。

防災拠点としての車移動での避難場所として、また大型車乗り入れに対しての駐車場スペースが、現状のままで賄えるのが不安であるとの声があるが、将来的に駐車場に対しての考えは。

現状では、問題なく運用、対応できている。将来的に大型車の来場数が増加し、慢性的に不足することが見込まれる場合は、大型車スペースの増設について検討する。

子どもの眼の健康について

健康に留意し取り組む

※GIGAスクール構想が加速されていく中、本町においても更なるタブレット端末の活用が活発になる一方、子ども達への心身の健康面が心配されるが、ICT化における子どもの眼の健康予防について伺う。

早期検診、予防が大事だと思うが、本町の本人、保護者へ電子機器に対しての健康被害の啓発の取り組みは。

児童生徒向けに「綾川町立学校タブレット端末活用のルール」、保護者向けに「持ち帰りタブレット端末家庭用ガイドライン」を作成し周知している。各学校においては、子ども達に対し、「良い姿勢の取組」や「メディア使用の意識向上の取組

み」、PTAに対し、講演や学校保健委員会での研修による啓発など、ICT教育推進における視力低下を学校課題として取り組んでいる。町として、統計調査や医学的知見などをふまえ、今後の時代に欠かせないICT教育の推進において、保護者の協力も得ながら、最大限子ども達の健康に留意して取り組んでいく。

本町における児童生徒の視力低下、目の障がい割合はいかほどか。先天性白内障、弱視、斜視等がある



みよし とうりょう
三好東曜 議員

新型コロナワクチン 9月20日から生後6ヵ月以上の全年齢を対象

XBB対応型mRNAワクチン 接種は百害あって一利なし!

重篤な副反応が起きる? これまでのコロナワクチンより毒性が強い可能性大!

予防効果はない? 現在はEG.5株が主流。古いXBB株対応ワクチンを打つ意味なし!

人体への投与は日本人が初! XBB対応型ワクチンはマウスでの治験のみ!

武漢株の抗体のみ上昇 既接種者はこのワクチンを打っても武漢株抗体しかできない!

ご自身で情報を得るように努めましょう! 下記の団体では最新の情報を発信しています。

東北有志医師の会 「XBB対応型ワクチンの危険性」の動画

新型コロナワクチン接種事業の中止
ワクチン被害者の救済を目指す
医師・医療従事者の非営利団体
<https://tohokuishi.localinfo.jp>

XBB対応型mRNAワクチンの危険性について
分かりやすく説明された動画(ニコニコ動画)です。
接種を検討される前には是非ご視聴下さい!

QRコードをスマートフォンの
QRコードリーダーで読み取ると
動画を見ることができます。

監修:東北有志医師の会 発行:mRNAワクチン問題を追求する有志の会

東北有志医師の会のチラシ

XBBワクチン接種に十分な説明を

町は正確な情報を住民に伝えていく

問

現在、mRNA新型コロナウイルスワクチンは人類史上類を見ない大薬害事件になっている。このワクチンは薬を装った毒であり、すでに数十の査読論文で重大な害が実証されている。

6月に利益相反の無い学術団体「一般社団法人ワクチン問題研究会」が「ワクチン接種後遺症群」を、これまでにない新たな疾病概念「ワクチン禍」としてとらえ、診断基準を策定していくため、立ち上がった。被害者は後を絶たず、救済に取り組んでいる。

過去44年間に認定されたワクチン健康被害救済制度の総認定数3522件、死亡認定151件を新型コロナウイルス単体で総認定数4098件、死亡認定数210件と大きく抜いている。

町はこれらの事実を9月20日から始まるXBBワクチン接種の前に住民に説明しないのか。未知の危険が既知の危険になったと指摘される今も、十分な住民説明を行わずに接種推奨していく理由は何か。インフォームドコンセントを求める。

答

厚労省は、薬害はないとしており、綾川町は国の方針に従う。反対する方は接種しないというふうに判断する。住民説明は広報誌やホームページ等を活用しながら実施する。

問

これが薬害でなければ全てのワクチン薬害は存在しないのでは。

答

町は正確な情報を住民に伝えていく。

問

厚生労働省の職員の接種率は1割未満で、全

答

健康福祉課課長、町長、副町長は接種(回数不明)している。職員については把握していない。

問

全国には接種券の一律配布をしていない自治体は2023年2月17日時点で、6ヵ月から4歳児で402自治体、5歳から11歳までで88自治体ある。接種券の一律配布は取りやめなのか。

答

接種券を送付すること、希望する方が接種機会を逃すことがないように努めていく。

総務委員会

7/6~7

学校給食及びコミュニティ
スクールの取組み
神奈川県葉山町

葉山町の学校給食基本方針に基づき、これまでの学校給食会による運営ではなく、教育委員会が主体となって学校給食の運営を担っていく体制に切り替え、令和4年4月から学校給食の公会計を導入し、学校事務の軽減と収支管理の一元化を図っている。

また、「エシカル給食」の実践として、①オーガニック無添加調味料（「さしすせそ」砂糖・塩・酢・醤油・味噌）を使用②地産地消の推進③バイオマスストローの導入によるSDGsの推進、等に取り組み、安心・安全な給食を提供している。さらに、生産者への感謝の気持ちや循環型の学習を行っている。

※エシカル：「環境」「人・社会」「地域」を思いやった考えや行動のこと。



エシカル給食やコミュニティスクールについての研修（葉山町）

課題として、オーガニック調味料の経費は、すべて町が負担している。物価高騰の影響もあり厳しい現状ではあるが、保護者負担を考慮すると給食費の値上げは難しいとのことであった。

本町におけるオーガニックの推進については、費用対効果はもちろん、当事者である学校（栄養士）や給食会、生産者の意見等もよく聴取し、共通認識のもと機運が高まった段階で進めていく事が肝要であると感じた。

また、コミュニティスクールの取組では、コミスク委員の人選において、設置当初は少数精鋭で立ち上げ、敢えて合議に向かない人を選出しなかったことで、好スタートが切れたとのことであった。

「協議会を進めていく中で、必ず委員に加えたいと思う良い人材に出会える」というコミュニティスクールアドバイザーの助言は本町においても、今後、参考にすべきところがあると思う。

海老名市立図書館の運営
神奈川県海老名市

海老名市には、開発が進む海老名駅直近の「中央図書館」と田園風景の残る市南部に位置する複合施設としての「有馬図書館」の2館がある。いずれも指定管理者制度を導入して運営を行っているが、市立図書館としての「一体性」を維持しつつ、地域の特性や

役割に合った「独自性」を踏まえながら、さらなる「学び」と「コミュニティ」の拠点を目指していく、とのことであった。

本町も滝宮駅や役場本庁舎に近い「生涯学習センター」と綾上地区の「綾上図書館」があり、よく似た環境ではないかと感じる。まさに、それぞれの地域の特性を生かした運営を期待したい。



駅近にある海老名市立中央図書館

災害時の自治体としての備え

さわかみまち
神奈川県寒川町

災害への備えは、どの自治体もよく似た取組はしていると思うが、災害情報の入手方法については、メインの防災行政無線やホームページに加え、メール配信、SNS（LINE・Twitter（現X））などを活用し、情報伝達の多様化と住民の利便性の向上を図っている。

また、官民75団体（内、65は民間事業者）と協定を結んでいる。主には、事業者からの申し出があり、支援内容を確認した上で締結しているとのことであった。

年1回の防災訓練では、実際の避難を想定した訓練の他、AEDの取扱い、パターシヨンの組立・設置、ペット同伴者対応、感染症対策資機材の取扱い、防災ハンドブックの説明など、多岐にわたる内容で実施している。

自助・共助の観点を重要視しながら、町内、全自治会に



災害に関する多様な取組を伺う（寒川町）

において自主防災組織を編成し、「顔の見える地域社会」の構築に取り組んでいるとのことであったが、自治会加入率は低いとのこと、本町と同様の課題を抱えていることが伺えた。

また、毎月第1日曜日を「寒川町家族防災会議の日」と定め、行政防災無線でテーマを発表し、家族で防災について話し合う機会を提供。この取組は、身近な家庭から防災意識の向上につながる第一歩として斬新な取組だと感じた。

厚生委員会

7/5~7

終活支援事業について 神奈川県大和市

○事業の主な内容

- ・自らの葬儀や納骨などを執り行う市内の協力葬祭事業者を紹介して、生前契約できるように支援。

- ・親族以外の方に、自らの死後の遺品整理や各種解約手続きの司法書士への連絡の手配。

- ・親族の代わりに、死後の墓の住所等の情報を希望する知人に伝える。終活に関する不安を終活コンシェルジュが相談に応じる。

○登録支援事業

登録者カードを発行し相談支援を行い、葬祭事業者や法律専門家等の民間事業者と情報連携を行う。市は、登録者の生存確認のため2週間に1回登録者に連絡をし、死後には希望する登録者の知人に情報を提供する。

○司法書士会との連携

司法書士会事務局に情報を

提供し、当該事務局が適任の司法書士を選任し相談者と連絡を取り合う仕組みで行っている。

○遺品整理・見積支援

相談が入れば、大和市環境事業協同組合に遺品整理等の見積りを依頼。同組合が相談者宅を訪ねし見積りを策定する。その後、その見積りを相談者から市へ提出し、市は遺族となり得る人に内容を通知する。

○遺贈寄付

一人暮らしの人が亡くなった後に、大和市に財産を寄付する際に司法書士会と情報連携し、同会が遺言執行できることにしている。

○終活支援条例の制定（令和3年6月）

意図は、これまで行ってきた終活支援事業を総括し、腰を据えて行政からの押し付けや強制ではない当たり前のこととして支援するため。

高齢者のごみ出し支援 ふれあい収集事業について 千葉県我孫子市

○事業開始の経緯

平成12年に自治会への要請を議会でも答弁。その後、高齢者や独居世帯のごみ出しに関する調査やアンケートを実施。平成15年に「高齢者等ごみ出し支援ふれあい収集事業」を開始し、平成20年に業務を委託。

○委託内容

「我孫子市ひとり暮らし高齢者等ごみ出し支援ふれあい収



我孫子市のごみ出し支援袋

集事業実施要綱」に従い、我孫子市内全域を2名以上の人員で2t車を用いて対象世帯のごみを収集。安否確認も同時に実施。

○対象者

65歳以上の独居高齢者や同世帯、障害者の独居または同世帯。

○実績

令和4年度は112世帯が面談、228世帯が利用し、およそ57tのごみを収集。予算は約600万円、今後は2台で実施予定。

※1 藤-teriaの運営について

ふじさお
神奈川県藤沢市

○施設概要と特徴

敷地は3103・12㎡で、延べ面積は4527・5㎡。RC造の地下1階・地上3階建てで、供用開始は2021年4月。

※2

PFI（BTO方式）で2018年から2041年までの事業期間を持ち、総事業費は約40億円。主な公共施設としては保育園、放課後児童クラブ、地域子どもの家、つどいの広場など。コンセプトは官民連携での子育て支援や健康



藤-teria（ふじてりあ）

※1 藤-teria（ふじてりあ）：子育て支援、多世代交流、健康維持・介護予防在宅生活支援を官民連携で運営する施設

プライベート ファイナンス イニシアチブ

※2 PFI（Private-Finance-Initiative）：官民が協同して効率的かつ効果的に質の高い公共サービスを提供する手段の一つ

維持・介護予防在宅生活支援。

○施設の事業体制

施設の西側1／3は民営部分で、歯科、小児科、フィットネスクラブなどが入居。東側の2／3は公共施設。運営はSPC（特別目的会社）が行う。

・複合化理由

市は公共施設を機能集約や複合化を原則に施設数の縮減を図っている。

・PFI手法採用の理由

市の方針として公民連携を

導入し、余剰な敷地部分を民間収益施設として活用。

いづも家庭庁の取り組みと いづも政策の概要について 東京都永田町

○概要・構成組織

こども家庭庁は、子どもの視点を重視した独立組織として、司令塔部門、育成部門、支援部門の3つの体制。総理直属の内閣府の外局として、各省庁との連携を強化し、新しい政策課題に取り組んでお

り、主な組織としては、長官官房、成育局、および支援局があり、それぞれが総合調整、成育支援、困難家庭の包括的支援などを担当。

○予算

令和5年度の当初予算4.8兆円で、2次補正予算を含めて5.2兆円規模。前年対比1.23倍の増。
出産子育て応援交付金＋370億円、保育士の処遇改善＋564億円、保育所の受け皿整備＋554億円等。そのほか厚労省の



子ども家庭庁から政策の説明を受ける

育児休業給付7625億円を確保。

まとめ

3日間を通して4項目の行政視察を行った。高齢者福祉や子育てに関する問題など共通する課題も多く参考になるものだった。終活支援事業の一步踏み込んだ取り組みは特に参考にし、綾川町オリジナルの形を構築し、町のために執行部と共に取り組んでいきたい。



町議会を傍聴して



さいとう たけひろ
齋藤 尊さん

私は8月から9月にかけて議員インターンシップ生として綾川町で活動しています。

私は今回初めて議会を傍聴しました。議員の方々が真剣に質問を投げかけている姿を見て、自分が思っていたよりも議員の方たちはそれぞれ強い想いを持っているらしいやらのだという印象を受けました。また、行政の方たちは質問に対し、町の現在の状況や町として今後どのように取り組んでいくかなどに関して責任を持って答弁しており、綾川町をよりよい町にしていこうという両者の想いが伝わってきました。

私は少子高齢化や人口減少によって生じる地域問題を始めとし、環境問題、観光・地域活性化などに関心があるため、それらに関連する質問と答弁に注目して傍聴しました。農業の人材不足についてやカーボンニュートラルに向けた取り組み、また少子高齢化・人口減少が進む中での地域住民に対する支援、道の駅「滝宮」の現状と課題、空き家対策についてなど関心ある質問が多く、とても有意義な議会傍聴となりました。

私自身も活動を通し、綾川町にもっと人を呼び込むにはどうすればいいかということを考えていきたいと思っています。



おおいし ひかこ
大石 陽紗子さん

私は8月から議員インターンシップ生として綾川町に来ています。私はこれまでに議会については学校で学んだ時の知識しかなかったため、私にとってこの町議会は初めて傍聴する議会であり、楽しみ半分緊張半分で傍聴させていただきました。

初めての議会傍聴をしての率直な感想は、自分が思っているよりも議会はしっかりとしている、というものです。それまでの私の中の議会のイメージは、寝ている人がいたり、ヤジを飛ばしたりといった少し悪いイメージがありました。しかし、この綾川町議会では議員、行政の両方の方々から綾川町を良くするためにどんなことを行っていくべきかを真剣に考えている様子がひしひしと伝わってきました。

また、農業の側面、商業の側面、空き家問題や災害時のことといったように、それぞれの議員さんで着眼点が違う、こういった政策に重きを置いているのかが見られたのはとても興味深く、勉強にもなりました。

私は将来、町おこしにかかわる仕事に就きたいと考えています。この議会での議員の方々の視点や、今後の活動を活かして夢の実現ができるように頑張っていきたいと思っています。

編集後記

今年、農作物にまで影響を及ぼした暑い夏が終わり、秋めいてまいりました。新型コロナウイルスに変異株(通称)エリスも加わり、インフルエンザと共に流行しようとしています。

8月からは、念仏踊・サマーフェスティバル・綾バル・駅バルをはじめ、各地区での秋祭りも催されており、コロナ前の生活を取り戻すために、各方面での行事も行われています。町民の皆様には、新型コロナウイルス感染症防止対策へのご協力ありがとうございます。新たな議員を迎えた議会広報では、より一層わかりやすくお伝えするように努力いたします。今後ともご愛読いただきますよう、宜しくお願いいたします。

(文責 西村 宣之)

議会広報編集委員会

委員長 十河 茂広
副委員長 三好 東曜
委員 三好 和幸
委員 浜口 清海
委員 大西 哲也
委員 森 繁樹
委員 小田 郁生
委員 西村 宣之